



ホンダ<7267>、ケーヒン・ショーワ・日信工業の系列車部品メーカー3社をTOBで完全子会社化へ、日立の部品子会社との合併に向け



日立製作所とホンダは30日、それぞれの傘下の自動車部品メーカー4社を合併させると発表した。ホンダが筆頭株主となっているケーヒン、ショーワ、日信工業の3社にTOB（株式公開買い付け）を実施して完全子会社化する。そのうえで、日立の全額出資子会社である日立オートモティブシステムズ（茨城県ひたちなか市）が3社を吸収合併する。4社統合により、自動運転や電気自動車など次世代技術「CASE」分野での国際的な競争強化を目指す。

合併後の統合会社への出資比率は日立66.6%、ホンダ33.4%となる。統合会社の売上規模は約1兆8000億円となり、トヨタ自動車系のデンソー、アイシン精機に次ぐ国内第3位の自動車部品メーカーに躍進する。合併時期は現時点で未定。

合併に先立つ、ホンダによる系列3社に対するTOB内容は次の通り。▽ケーヒン＝買付価格2600円（TOB公表前日の終値1898円に36.99%のプレミアム）、買付代金1127億7967万円）▽ショーワ＝買付価格2300円（同1806円に27.35%のプレミアム）、買付代金1161億9083万円▽日信工業＝買付価格2250円（同1793円に25.49%のプレミアム）、買付代金953億5342万円。

TOBの開始日や買付期間は未定。いずれも買付代理人は野村証券。